

【報告 2】**「三豊市文書館の現状」**

三豊市総務部総務課 千秋浩幸さん

三豊市文書館の職員は2名である。平成18年1月に旧三豊郡の7つの町が合併して三豊市が誕生した。同年6月の議会で三豊市文書館条例が可決され、7つの旧庁舎に散在する文書の管理・保存の方向性を決めた。現在、旧山本町庁舎の空きスペースを利用して、三豊市文書館を整備した。

当面、徐々に旧町の永年保存文書などを三豊市文書館に移し、分類、選別などを手掛けている。しかし、7つの旧町文書をすべて移せているわけではなく、保存環境にも注意を要する状態である。

7つの旧町の文書管理は共通するシステムを導入している部分もあるが、相違するところもある。これらの整合性を図りながら、簿冊単位でコンピュータ入力を行い、データベース化を進めている。現場での悩みは、評価選別の基準を設けて整理を促進することはもちろんであるが、きちんとした規則・例規の整備、「文書館だより」での市職員への理解を得ることのうえに、文書館の耐震補強整備をしなければならないことである。

県下市町でははじめての文書館であり、旧庁舎に散在する公文書を一日も早く一括管理できるよう、みなさんのご指導をお願いしたい。

以上2本の報告の後、休憩をはさんで後藤仁教授の講演が行われた。